

平成24年11月19日  
国土交通省九州地方整備局  
武雄河川事務所

## 《お知らせ》 小学校5年生の理科授業で洪水に関する防災教育が実施されます

11月21日に武雄河川事務所から提供した指導計画案をもとにして、武雄市立御船が丘小学校5年生の「理科」授業において、学校の先生により洪水に関する防災教育が実施されます。

この取り組みは平成23年度から新学習指導要領が施行され、その中では自然災害の防止の重要性について関心を深めることが明記されるなど防災教育の必要性が高まっていることを考慮し、今までの「総合的な学習の時間」時間での出前講座ではなく、「社会科」や「理科」の「教科学習」による授業において学校の先生に「防災教育」を実施してもらうよう、進めているところです。題材は身近な六角川・松浦川を指導計画に沿った形で盛り込んで作成しています。

今年度は、武雄市（六角川流域）、唐津市（松浦川流域）で教育委員会、小学校等と調整を図りながら進めているところであり、今回は御船が丘小学校で実施されますが、六角川流域では初めての実施となります。

実施概要につきましては、下記のとおりです。

### 記

1. 実施日時：平成24年11月21日（水）午後1時55分～午後2時40分
2. 場所：武雄市立御船が丘小学校 5年1組教室（2階 東奥）  
（10分前に職員室から案内致します）
3. 内容：理科学習「流れる水のはたらき」洪水を防ぐ工夫

#### 問い合わせ先

国土交通省九州地方整備局 武雄河川事務所

TEL 0954-23-5175

技術副所長 山本 佳久（内線205）

建設専門官 穴井 利明（内線405）

武雄市教育委員会 教育部 学校教育課

TEL 0954-23-8010

竹内 智道

# ★洪水を防ぐ工夫を考えよう！

～小学校5年生の理科授業で初めて学校教師による防災教育を実施～

**11月1日に武雄河川事務所から提供した指導計画案をもとにして唐津市立久里小学校5年生の「理科」授業で初めて防災教育を実施していただきました。**

この取り組みは平成23年度から新学習指導要領が施行され、その中では自然災害の防止の重要性について関心を深めることが明記されるなど防災教育の必要性が高まっていることを考慮し、今までの「総合学習」時間での出前講座ではなく、「社会科」や「理科」の「教科学習」による授業において学校の先生に「防災教育」を実施してもらうよう、進めているところです。題材は身近な六角川・松浦川を指導計画に沿った形で盛り込んで作成しています。

現在、武雄市（六角川流域）、唐津市（松浦川流域）で教育委員会、小学校等と調整を図りながら、今回は理科の授業で実施してもらいました。

理科の授業にもかかわらず、社会的な要素も含みながら、テンポ良く進めていただきました。またこの授業はパソコンを用いて実施されましたが、電子データによる資料提供を行っており、洪水写真の前後比較などは使いやすいと好評でした。

今年度は引き続き防災教育授業を数校実施していただき、次年度以降に繋げていきたいと思っています。

## 実際の授業の流れ

写真で洪水による災害を知る



ハザードマップを例に安全に過ごすための工夫があることに気づかせる



## めあて：洪水を防ぐ工夫について考えよう

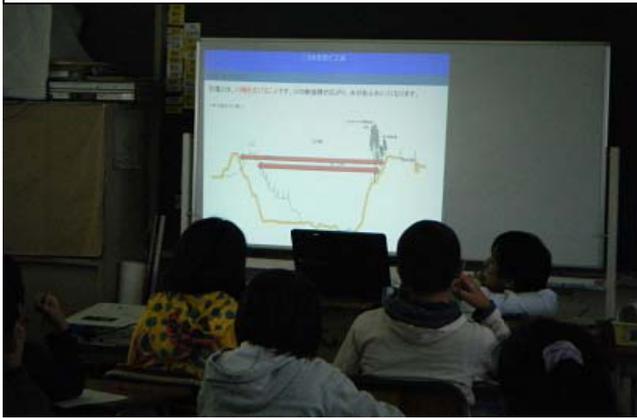
洪水を防ぐ施設や工夫について考える



洪水を防ぐ工夫はダムなどの施設だけでなく水防団など多岐にわたることを押さえる



## それぞれの洪水を防ぐ工夫の特徴を知る



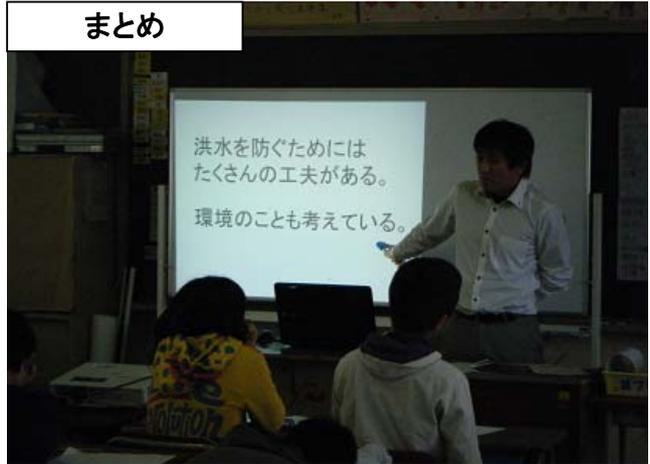
## 環境を考えた川づくりの工夫を知る



## どの部分が環境を守るための工夫なのかを考え、生物がたくさんすんでいることを押さえる



## まとめ



## 5年生理科 指導計画(案)

### 7. 学習の過程

流れ	学習活動・内容	指導上の留意事項	資料(解説書)
導入	① 教科書や図書室の写真や資料をもとに洪水による災害について話し合う。 ② 洪水を防ぐためにどのようなことが行われているか、調べる方法を話し合う。	●自分たちの生活経験をもとに話し合わせるとよい。 ●各地域の洪水ハザードマップを資料として用意することで地域への関心が高まる。 ●資料を参考にして調べる。 <その他に調べたい項目> ・自分たちの生活とのかかわり ・環境保全のための工夫 めあて：こう水をふせぐために、どんな工夫をしているのだろうか。	・解説書 (p1~p2) 過去の災害 ・解説書 (p3~p5) 風水害に対する心がけ ・洪水ハザードマップ ・防災まちづくり手引き
展開	③ 洪水を防ぐ工夫を調べる。	●調べる活動を通じて、自然を考えた川づくりについて触れ、これからの川との生活について考えるきっかけとする。	・解説書 (p6~p8) こう水を防ぐ工夫 ・解説書 (p9~p11) 川の災害防止と環境保全 ・パンフレット「整備計画概要版」
まとめ	④ 調べた結果をまとめたり発表したりする。	これまで学習してきたことをもとに川のあんぜんについて考える。 まとめ：わたしたちは、こう水をふせぐために防などをつくるとともに、こう水が起きた時のために、ひんや救助の対さくを立ててそなえている。	

### 8. 板書計画

こう水をふせぐために、どんな工夫をしているのだろうか。

○こう水を防ぐ工夫

- ・ていぼう
- ・ダム
- ・遊水地
- ・くっさく
- ・ひきてい
- ・しょう水路
- ・はい水環境

○自然を考えた川づくり

- ・ホテルがすむ川
- ・魚がおよく川
- ・植物がたくさんある川
- ・安全にあそべる川

わたしたちは、こう水をふせぐために防などをつくるとともに、こう水が起きた時のために、ひんや救助の対さくを立ててそなえている。

## 5年生理科 教科書

